

# えすの里

Vol. **105** 2016.11 (隔月刊)

社会福祉法人 一心福祉会

<https://www.isshinfukushikai.or.jp/>



沖縄県ゆうあいスポーツ大会  
撮影者: えすの里 (山内美園)

# 安全祈願祭



工事安全を祈願して



大宜味村長より施設に対する熱い想いを頂きました



栄養士の話を聞く家族の皆さん



三丸先生による口腔ケア講習

やんばるの家

地域密着型グループホーム「きじよか」の安全祈願祭を九月八日、旧喜如嘉小学校教員住宅跡地で多くの関係者を案内し開催いたし

ました。

平成二十九年四月（開所予定）に向けて工事が始まりました。「住み慣れた地域でこれまで通り馴染の土地と同じ場所で暮らしたい」その想いに寄り添い大

宜味村福祉計画の基、施設新築工事を着工する事が出来ました。この施設が地域の方々の交流の場や福祉の拠点になれるよう頑張つて行きたいと思えます。

# 平成29年4月開所に向けて！

# グループホーム「きじよか」



# 在宅介護家族 高齢者食を味わう！

やんばるの家

大宜味村包括支援センター主催で、在宅介護をされている家族の方八名が七月二十二日にやんばるの家に食事と口腔ケアの見学に来所されました。

施設内見学を行った後、大宜味村歯科診療所の訪問診療を見学し、三丸先生より実践を交えた口腔ケアを学びました。その後、利用者へ提供している昼食の試食を行いました。普通、荒刻み、小刻み、ソフト食とそれぞれの形態を味わい舌触りや飲みこみ具合などを感じておられました。

参加者は「自宅ではここまで出来ないが味付けなど勉強になりました。」と話されていました。

栄養士 金城 晴菜

# 期待の若手二人会

デイサービス

九月二十三日には仲村逸夫（琉球古典音楽野村流保存会師範）佐辺良和（琉球舞踊世舞会師範）のお二人の公演会がデイサービスにて行われました。

お二人は県立芸術大学で出逢い、その後国立劇場おきなわ組踊伝承者養成研修生として日々精進し、若手の有望な担い手として多きに活躍が期待されています。

公演会では卓越した技芸を披露して頂きました。中でも地元塩屋区の「塩屋小唄」を創作で演じられ、会場から大きな拍手が沸き起こっていました。



ハイ…いい感じ



佐辺氏の独演



楽しくカチャーシー



仲村氏の独奏

## 身体障害者スポーツ大会

一心療護園

十月八日、第五十二回沖縄県身体障害者スポーツ大会へ三名の方が参加しました。

今回は、電動車椅子スラローム、ビンバグ投げにエントリーされ、三名とも見事メダル獲得！

電動車椅子スラロームにエントリーした新城安史さんは大勢の人達がいる中「緊張はしていない」と落ち着いて話され、毎年スポーツ大会に参加

加されている風格がにじみ出していた。

来年は一人でも多くの利用者さんが参加できるように家族や地域、ボランティアの方、職員と協力をしていきたいと思えます。

生活支援員 前田 英二



上位入賞目指して

## 摂食嚥下研修会

一心福祉会

八月三十一日に北山病院から摂食・嚥下障害看護認定看護師の加藤節子先生を招き摂食嚥下障害患者へのケア、口から食べる喜びを支えるためにと題した研修会が行われ、多くの法人職員が参加しました。嚥下障害の方の口腔内の状態を実際に体験したり嚥下機能を向上させる事で見違える程元気になった患者さんの様子が紹介され、普段何気無く行っている「食べる」という行為は、生命の維持だ

けでなく、生きる為のエネルギーとなる事を学びました。研修で学んだ事を実際に活かし、利用者さんのケアへと繋げていきたいと思えます。

生活支援員 山城 安信



真剣に聞き入る皆さん



# 米寿・風車・新百歳合同祝い



## おめでとうございます

やんばるの家

十月九日、米寿一名、風車三名、新百歳一名様の合同祝いが行われました。

沢山の家族の方々や来賓の方々に参加し多いに盛り上がりました。又、来賓者の祝辞や、家族の余興、家族の方が準備して下さった華やかな衣装を着て祝い者も誇らしげに見えました。これからも施設での生活を楽しく快適に過ごせるよう職員一同サポートして行きます。祝いの皆様、誠におめでとうございます。



合同祝いの来賓祝辞

### 【米寿】

宮城 トシ様

(昭和四年五月五日生)

### 【風車】

前田 綾子様

(大正九年十一月十日生)

宮城 マツ様

(大正九年九月二日)

大宜味村字田嘉里出身

平良 保正様

(大正九年十二月十八日)

### 【新百歳】

中村 宜栄様

(大正五年九月六日)

東村字川田出身

介護主任 鳥袋 富明



歩いて入場する宮城マツさん

## 敬老会

デイサービス



上等だね～ (パチパチ)

息の合った演舞です

敬老週間の九月二十一日にデイサービスでは平良英勝さん(田嘉里在)のグループと、国頭村の民謡研究所で指導されている大田多恵子先生と門下生による民謡と琉舞の公演がありました。賑やかなテンポの民謡や洗練された琉舞で敬老会を盛り上げていただき、参加者からは「とても楽しかった」「ヌチグスイ(元気をもらった)でした」との声も聞かれ楽しいひと時を過ごしました。

介護員 金城 翼

懐かしい話しに華を咲かせていました。

### 小規模 あがり

九月七日、東村敬老会が東村農民研修施設で行われました。

小規模多機能ホームあがりからは、今年トーカー祝いを迎えた仲村茂子さん(有銘出身)と奥本ヨシ子さん(川田出身)の二人が参加しました。

二人は、久しぶりに会う友人達から激励の言葉や昔



仲村茂子さん



奥本ヨシ子さん



# あがり作品展

編み物展示

ど~や! すごいやる!

今回は比嘉富子さん(川田出身)の帽子や財布入れなどの編み物作品を展示しています。比嘉富子さんは昔から編み物が得意で、今でも時間があれば毎日編んでいます。みなさん、ぜひ一度足を運んでみて下さい!

介護員 金城 翼

八月から利用者の手工芸を中心とした作品を展示しています。

小規模 あがり

## 塩屋区敬老会に参加

小規模 いっしん

九月十九日、塩屋区の敬老会があり、区出身者三名の方が参加しました。事前に参加確認をしていましたので公民館では席も確保してくださいました。会場では久しく会う方も多く、皆さんの声かけもありました。舞台では、子供会や青年会、成人会、婦人会等の歌・三線・踊りの演奏

で敬老の日を大いに盛り上げ、会場の皆さんも笑いと拍手が鳴り止みませんでした。又、ご馳走も沢山あり持ち帰る程でした。村役場より、お祝い金も頂き、楽しいひと時となり、「来年も元気で参加します」と会場を後にしました。塩屋区の皆さんありがとうございました。



余興で会場をわかせてくれた子供会



村役場よりお祝い金を頂きました



元気な喜如嘉保育所の園児達



パワー全開塩屋保育所

## 子供達にパワーをもらおう!!

村内2保育所、小規模いっしん訪問

九月二十六日に塩屋保育所(六名)と二十八日に喜如嘉保育所(十二名)の元気な園児の訪問があり、いっしんの理念である世代間交流を実施しました。玄関前で元気のある挨拶に始まり、ホールでの自己紹介は両園児共、方言で挨拶し、利用者さんは感心していました。その後は、指の体操や遊戯、歌、忍者の衣装での演舞で前転・側転等を披露し、利用者さんは拍手喝采でした。「短い時間でしたが楽しく交流が出来ました。次もお願います。」と、利用者さんより挨拶があり、園児の皆さんへブレゼントもありました。保育園児の皆さんありがとうございました。

私の生きがいは、体を動かすこと、人一倍働くことでした。そんな私が八十二歳の時、右足の骨を折ってしまったのです。五十四歳の



前田 正子さん (89 歳)  
喜如嘉出身、デイサービス利用者

# 私の生きがい



人生はたった一度と言われますが、その人の歩んだ人生は唯一のもの。その貴重な体験を「私のヒストリー」(ライフヒストリー)と題してご紹介する企画です。

何事にも人の手を借りず、すべて自分でこなしていただけない、もどかしくて仕方がありません。とはいっても、いきなり治るはずもなく、今は献身的に面倒を見てくれる娘たちに、感謝の気持ちでいっぱいです。

私が一心不乱に働くようになった一つのきっかけは、長男の突然の死でした。それは東京の会社に勤め、成人式を間近に控えた四十五年前に起こりました。

時にも骨折を経験していたので、「骨さえくっつけば、すぐに歩くことができるようになる」と高をくくっていたのですが、治るどころか、年を追うごとに足は衰え、ついに自由に歩くこともままにならず、足だけでなく、言葉も思うように話せなくなっていました。



トーチカ祝いに集まってくれた家族



芭蕉の糸を紡ぐ正子さん

聞き書き 重光 正則

ただ一人の男の子であり、頼りにしていたし、生き甲斐でもあったので、そのショックは、とても言葉では表せない人生で最も辛いものでした。そんな苦しみも忘れるためでもあったのです。

夫を早くに亡くし、女手一つで四人の娘を育てましたが、その娘たちが今、私をやさしく支えてくれています。十四年前に娘や孫たちと行った大阪や京都への旅行は、楽しい思い出です。八十八歳のトーチカには那覇のホテルに娘や孫ら五十人程が集まり、祝ってくれました。その時、孫たちは「オバア、カジマヤも盛大にやろうね」と言ってくれました。今、娘四人、孫十二人、ひ孫十二人ですが、そのころには玄孫もできているかもしれません。それを励みに頑張っています。

就労センターえすの里は、仕事だけではなく、余暇活動も充実させ楽しく事業所を利用できる様に支援を行っています。

今回は「いつかは旅行に行って観光したい」という利用者さんの希望を受け、その雰囲気を感じても思えば、伊江島への外出支援を計画しました。

離島への余暇支援は殆ど経験がなく利用者さんもフェリーでの移動や伊江島観光にとても満足された様子でした。今後も、利用者

## 就労センターえすの里

# 伊江島へ行ってきました!



伊江島タッチュー登頂しました~!!



「もう少しで到着で~す。」

さんの声に耳を傾けながら出来るだけ希望に沿った余暇支援を計画し楽しく活発な日中活動が送れるよう日々の支援を行います。



鉢巻すがたきまっています!!

# 懐かしい歌の合唱で始まる 秋の運動会

## デイサービス

十月十二日・十三日の両日にデイサービスでは、秋の運動会を開催しました。  
♪待ちに待ちたる運動会から始まる懐かしい運動会の歌を皆で合唱し、紅白に分かれて応援合戦も行いました。

玉入れ、足輪リレーなどの競技では皆さん笑顔の中にも、真剣な表情で取り組んでいました。  
また、職員が両足にボールを挟んでのリレー競技では、大きな声援や笑い声で盛り上がり、最後に参加者全員でおどりを踊って閉会となりました。



## 地域で活躍されている方々との交流に花 一心療護園

### 東村出身の“愛彩”さんによる民謡コンサート

九月二十六日、東村出身で地元の夏祭りや福祉施設での公演など活躍されている「愛彩さん」によるコンサートが開催されました。  
愛彩さんは幼少時より祖母に三線を師事、三線はもちろん、自らギターを弾き作詞・作曲も手がけるなど幅広いジャンルをこなすことが魅力で、今年に入り自身のオリジナルソング二曲を含むミニアルバム「あかばな」でCDデビューをしまし

た。  
コンサートでは、沖縄民謡を披露され、利用者の皆さんは曲に合わせて手を叩いたり、口ずさんだりして楽しまれていました。  
また、コンサート終了後に全員で記念撮影を行い、中にはサインをもらう方もおり、利用者・職員共に楽しく、充実した時間を過ごすことができました。  
生活支援員 池原 真由子

### ♪素敵なご夫婦によるゴスペルコンサート♪

十月二日「クロスロード」としてご活躍されている宮城克次さん・しずのさんご夫婦による美しい歌声のゴスペルコンサートが一心療護園で開催されました。  
利用者さんの中には、指揮者のように腕を振る方や一緒に歌を口ずさむ方、歌声に酔いしれる方など様々な形で楽しまれておりました。

歌の合間には夫婦で乗り越えてきた苦労やコンサートなどで歌を聞いてもらえる感謝の気持ちなどを話されておりました。  
想いのこもった美しい歌声に癒され、会場となったホール全体が大きな感動に包まれ、とても素敵な時間を過ごすことができました。  
生活支援員 金城 一騎



素敵なひと時となりました♪



衣装と歌声がすごくあっていて素敵でした♡



# トピックス



## 沖縄テレビ放送社長賞

第 49 回

# なぜ、今、婦人会？

婦人の主張  
中央大会

大宜味村婦人連合会  
安里 美紀 (支援センターやんばる職員)

(詳しくは、10月9日の琉球新報で掲載)  
職員も地域活動、積極的に参加しています。

## ゆうあいスポーツ大会 えすの里 平成28年10月15日



「皆さん優秀な成績でした！」

## 身体障害者スポーツ大会 一心療護園 平成28年10月8日



「ガンバレもうチョイ」

### 介護に関する 困ったを共に考えます！

サービスや手続きの相談等受付ます。

介護支援センター やんばる

電話 0980-44-2398

担当：座喜味・安里・當眞

お気軽に  
お電話下さい！